

アートがたくさん、川越橋

広報室 224-5495

小江戸川越検定の設問からテーマを選び、まちの魅力を紹介します。

設問 川越橋兩岸にあるプレートには何が描かれているでしょうか？

- ①三十六歌仙 ②百人一首 ③かわごえ郷土かるた ④ときも



平成2年、現在の場所に架け替えられた川越橋には、橋の名前にちなみ、川越らしい物が随所にあります。橋を渡っていると目にするのが銅板レリーフ。川越城本丸御殿・川越まつりなどが描かれています。親柱には時の鐘、欄干には蔵造りの屋根を模した手すりなど、いくつもの川越らしさを発見しました。橋を渡り切った所に、十八枚のプレートがありました。これは、仙波東照宮所蔵、国指定の重要文化財「三十六歌仙額」を基に作られたもの。反対側にも十八枚あり、三十六全ての歌がそろっています。



実物の「三十六歌仙額」は、県立歴史と民俗の博物館で保管されています。来年の秋ごろ、市立美術館で展示される予定です。

答え①



小松菜

中国原産の野菜で、江戸時代に小松川村(現在の江戸川区周辺)で栽培されていたことからこの名称になりました。関東を中心に栽培されており、収穫量は埼玉県が全国第1位、川越は県内の作付面積第3位です。

栄養価の高い緑黄色野菜で、鉄分やカルシウムはホウレンソ

ウ以上。特にカルシウムは牛乳並みで、野菜の中では飛び抜けています。年間を通して見かけますが、旬は冬。「霜に当たると甘味が増すのでこの時期はお勧め。寒くなって虫も少なく、自然と減農薬になります。鮮度が重要なので、買ったら早めに食べてください」と田口秀明さん(42歳・鴨田)。保存するときは、立てて置いた方が良いでしょう。アクが少なく、軽くゆでれば、素材のおいしさが味わ



えます。都内の高級スーパーでも取り扱われる田口さんの小松菜のように、川越産は主に東京に向けて出荷されています。最近では市内の一部スーパーに並ぶほか、市内直売所でも買うことができます。



12月18日(日)、午前10時～午後0時30分(蔵里)
12月24日(土)、午前9時～11時(クリアパーク)

編集後記

どんぐり



蔵のまちを駆け抜ける人たちが。11月27日、今年も天候に恵まれた小江戸川越マラソン。約九千人のランナーが参加しました。沿道には、メガホンやポンを送るたくさんの人の姿。走り終えた人たちからは「町並みが素敵だし、景色もきれい」「いろんな人が応援してくれて楽しく走れたね。また来ようね」の声。川越の人たちの心の温かさを感じました。皆さんの協力のもと、無事小江戸川越マラソンは終了しました。